

議 会 だより



小豆島町

No.18

平成22年11月1日 発行



運動会目指して、特訓中！

手作り竹馬を乗りこなす、子どもセンターの子どもたち

- 審議議案
一般会計補正予算など 2
- 一般質問
8名の議員が質問 4
- 住民の声・町の力 8

22年度 一般会計

4億5,348万2千円

を補正

補正予算

審議した主な議案

一般会計(第4号)

今回の補正については、決算剰余金を減債基金に積み立てた(3億7,000万円)ため、例年と比べ金額が大きくなっています。その他の主なものは次のとおりです。

9月定例会が17日に開催され、平成22年度一般会計と3特別会計の補正予算議案、工事請負、変更契約議案が各1件、小豆島町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正議案を含めた9議案が提案され、全会一致で可決しました。平成21年度の決算認定議案は閉会中に特別委員会にて審議されることとなりました。また、平成21年度決算における財政健全化判断比率など5件の報告がされました。

○総務費

瀬戸内海の復権意見交換会等運営委託料 125万6,000円
瀬戸内海沿岸の18市町の首長クラスが集まり、瀬戸内圏域の未来を考える意見交換会に係る費用

高年齢者運転免許自主返納支援事業

補助金を72万円減額し、通信運搬費28万円を増額。
窓口に一度来れば手続きが済むようバス回数券を直接渡す方式に変更したため。

○民生費

オリーブバスのICカード導入経費への補助金 773万4,000円
障害者支援施設の新制度移行に対する事業安定化補助金 696万1千円

○衛生費

病児・病後児保育事業施設整備費負担金 1,100万円
内海病院で来年4月を目途に開設を予定している病児・病後児保育施設を整備するための負担金。

内海病院に病児・病後児保育施設を整備



働く人の子育てをバックアップ (写真はイメージです)

○商工費

小豆島ふるさと村指定管理料 150万円
ふるさと村いちご農園のビニールハウスに傷みが目立って

きたため、修繕を行うもの。

○消防費

消防団員への出勤報酬 160万円
町条例改正に伴い、8月30日の林野火災に出勤した消防団員への出勤報酬の増分。

○教育費

安田小学校耐震補強・大規模改修工事 227万円
工事施工中に不備が見つかった消火栓配管を整備するための追加工事費。

工事請負契約

工事名 橋地区改良住宅I・J棟耐震並びに外壁改修等工事
契約金額 5,880万円
契約相手 有限会社 壺井工務店

工事請負変更契約

工事名 安田小学校校舎耐震補強及び改修工事(北工区)

ファイ(乳がん検診装置)整備事業に3,150万円かかるもの。

条例の一部改正

○小豆島町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
従来、消防団員の出勤報酬は1回1,800円(定額支給)であったものが最高3,600円まで支給可能となる改正(ただし、過酷な状況下で長時間の作業を行った場合)

病院事業会計補正予算(第1号)

病児・病後児保育施設整備に1,100万円、マンモグラ



岩谷に設置された
急速ろ過装置

〔内容〕6月30日に岩谷・当浜・福田の各簡易水道の原水に病原性原虫ジアルジアの混入が確認され、早急な対策が必要であったため。（主なもの：当浜地区のろ過装置借上料175万円、岩谷地区ろ過設備設置工事費71万円など）

専決処分の報告

契約金額
変更前 4,893万円
変更後 5,313万円

簡易水道事業特別会計
補正予算(第1号)
追加補正予算額は340万円、補正後の予算総額は26,579千円。

〔内容〕池田地区の林野火災において必要となる所要の経費について、早急な対応が必要であったため。（主なもの：消防団員への出勤報酬200万円、団員への飲料水費等90万円、傷んだポンプ・ホース等の購入費485万円）



消火に日数を要した池田林野火災

一般会計(第3号)
追加補正予算額は880万円、補正後の予算総額は75億9,367万5千円。

※なお、7月1日に浄化した水の検査を行い、問題なしと判定されています。

(平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告)



まちの財政
だいじょうぶ
かな?

『財政健全化判断比率』とは？

北海道夕張市の財政破綻をきっかけに作られた自治体の財政破綻を未然に防ぐための基準で、以下4つの指標から、町の財政状況を判断します。

①実質赤字比率

まちづくりや福祉、教育などを行う一般会計などの赤字額の程度を表しています。

判	赤字なし
小豆島町	-%
	(前年-%)

②連結実質赤字比率

一般会計の赤字・黒字額や特別会計等の赤字・黒字額を合算して得られた町全体の赤字額の程度を表しています。

判	赤字なし
小豆島町	-%
	(前年-%)

③実質公債費比率

町が返済した公債額(借金)が、町の標準的なサービスを提供するために必要とされる収入額に対する割合を示したものです。

判	基準以下
小豆島町	11.8%
	(前年 14.0%)

④将来負担比率

今後支出されるだろう負債(借金)が、町の標準的なサービスを提供するために必要とされる収入額に対する割合を示したものです。

判	基準以下
小豆島町	-%
	(前年 7.1%)

※-%は、算定の結果「該当がない」ことを表しています。

★資金不足比率……公営企業(小豆島町では、水道、簡易水道、老健うちのみ、内海病院が該当します)の経営の悪化の度合いを示すものです。具体的には、資金不足額が事業の規模に対して、どのくらいの比率になっているかを求めるものです。

小豆島町では前年度に引き続き、どの会計においても資金不足は発生していません。



いずれの数値も国の定める早期健全化や財政再建の基準、経営健全化基準内の数値となっています。しかしながら、この要因は、合併に伴う財政支援による一時的なものです。今後、町の収入増が見込めない中、限られた財源を有効に生かし、持続性のある財政運営が必要といえるでしょう。

一般質問

9月議会の一般質問において

8名の議員が質問に立ちました。

嘱託職員の待遇について



安井 信之 議員

質問 嘱託職員に対して、退職金制度、資格手当等の改善をどのように図るつもりか。

答弁 財政の制約・町の活性化に対して新規施策を起す現実があり、両者のバランスをとっていく。
嘱託職員に退職金はないという前提で職についてもらっているの
で、退職金は難しいが、勤務については必要があれば、処遇の改善をしていきたい。
これからの財政事情で、どこに振り向ける

かという視点と合わせて検討していきたい。

来年度、保育所では、嘱託職員が行っていた仕事に正規職員を採用することが内定している。基本的には嘱託を正規にというのが、好ましい方向だと思いが、退職金の問題も多少問題あるので参考にした

少子化対策の優先課題は

質問 乳幼児医療の充実をはじめとする少子化対策について、どの課題について優先的に取り組むのか。

答弁 少子化対策で言われるのは、働き方の見直し・経済的支援政策・子育て支援のサービスである。
しかし、小豆島は、

少子化対策の充実・移住者の支援・地場産業の活性化で人を増やすという政策が少子化対策の柱の一つになる。子ども手当は国の政策であるので、全額国庫負担を国に対して要望はしていきたい。
乳幼児医療の無料の年齢の拡大をしたいと思っているが、何を優先的にするかについては、議会・委員会でも議論をしていたとき、来年度予算の中でどうするか、決断をしたい。



島の未来のための施策を

台風時に旧池田町の高波対策の必要性は



中江 正 議員

質問 私たちの調査では、旧池田町は台風時に高波はすごいものだった。海側で生活する住民は、高波が砂を運び排水溝が埋まって臨時自衛手段をとっていた。今後の高波対策は。

答弁 現地調査等を活用し海岸線の護岸等における高潮とは別の越波対策や、護岸等の前面砂浜における配水管の埋設対策は、県と連携しつつ、高潮だけでなく高波も念頭に置いた対策をこれまで実施

し、既存の防波堤等の維持修繕も順次実施している。

今後とも県と十分連携をとり、また財政状況も見極めながら、町の重点施策として取り組んでいきたい。

合併特例債は、どのような事業に

質問 合併特例債はどのような事業に使われたのか。

答弁 合併以降、平成21年度決算までの発行した特例債の総額は12億8,310万円で4年間で24%です。充当事業は内海中学校建設に8億6,850万円、池田中学校耐震改修に



入部地区に整備された導流堤

4,750万円、植松都市下水路整備に2億1,460万円、高潮対策に12億70万円、防災行政無線整備に8,400万円、合併支援助路整備に1,780万円、オリーブナビ小豆島整備に3,800万円、各種事業推進のための財源として有効活用した。

内海病院の医師確保について



浜口 勇 議員

質問 常勤医師は8年前には25名いたが最近14名に減っている。医師確保の処方せんを示して、町民を安心させては。

答弁 医師研修制度の改正と医療の専門化によって医師が都会に集中して地方の医師不足が広がり、深刻化している。

医師確保のため「内海病院魅力プロジェクト」を作り、住民だけでなく内海病院へ勤務する医師にとっても魅力ある病院を目指して、その実現の検討を進めている。久保院長と栃木県の自治医科大学、香川大学医学部の学長、学部長、附属病院長、香川県知事など各関係



住民にも、医師にとっても魅力ある内海病院に

者へ医師派遣の要請をしている。島出身の医師にも要請している。要請した方からは内海病院だけでなく、小豆島全体の医療体制をどうするのか議論を進めて、医師が集まってくる良い病院づくり。つまり若い医師にとっては医師としての技術を習得でき、地域医療を学び、住民との交流を通して人間的成長もできる病院になること。それが島の魅力を高め、島への移住の契



機にもなるので、医師確保問題には全力で頑張りたい。

瀬戸内・海の道構想との協調を



森 崇 議員

質問 広島県知事の「瀬戸内・海の道構想」が大きく掲載されていた。知事公約の背景にある高齢化・産業の停滞は県境を越えた共通課題であり協調すべきでないか。



航空も道路の呼び掛けは広がっています

答弁 広島県知事の考えに同感である。航路も道路などについては10月7日・8日に18自治体の方が出席し意見

交換会が行われる。香川県知事も出席し意見を述べる予定である。

昔「トウゴウサン」今どうなっている

質問 納税は「10・5・3」(トウゴウサン)と呼ばれたが今どうなっているか。大型店の規制緩和で地元店主が働かざるを得なくなっている。自治会や消防、町のイベントでも商店主は活躍している。もっと評価し買い物などの呼びかけを強めるべきだ。

答弁 納税は町の発展にとって大切である。調べて報告する。先日山火事でも地元商店の方が活躍されていた。お金が地元を廻るよう呼びかけを強めるため町広報で特集を組む。

企業の発展と
住民生活の両立を

質問 物の生産と住民生活安定は個人個人の問題ではない。両立すべきだ。NHKでも低周波が住民を悩ませていることを報道していた。町条例を作り補助すべきだ。

答弁 小豆島町は食品産業が多く、騒音や悪臭が出やすい。提案のように条例が実現するかどうか検討する。



低周波騒音についての報道

学校統合について



中村 勝利 議員

質問 少子化が急速に進み、学校統合は避けられない問題である。小豆島町学校再編整備検討委員会が出した答申をどのようにとらえているか。生徒数が何人以下になった時、統合を考えているか。高校・中学校・小学校の統合、庁舎建設などを総合して町の青写真を早く描く必要があると思うが。

答弁 答申は、教育のあり方について、熱心かつ真剣に検討いただいたと理解し、尊重したいと考えている。庁舎を含め、教育・医療・観光等全体を一つとしてとらえ、問題解決には、時間の余裕がないと認識をしている。

〔教育長〕 学校運営において標準規模を確保し、少人数指導を取り入れていくことが望ましいが、池田中学校については普通学級が3学級となつていて、真剣に考える時期に来ていると考えている。

島の宝物を生かした

地域振興について

質問 町長就任後、これこそはと思われた島の宝物を、どの様に地域振興に生かそうと考えているか。

答弁 三都半島のアート、苗羽・馬木の醬の郷、中山の千枚田・農村歌舞伎、寒霞溪や山岳霊場など、それぞれに応じて条例をつくるべき検討を進めている。また



池田中学校



後世に残すべき「島の宝物」

子どもの虐待を防ぐ積極的な施策を



村上 久美 議員

質問 保護者らの虐待で子どもが死亡する悲惨な事件が後を絶たない。小豆島町内の虐待相談等は、保育所等で定期的に行うなど子ども

もの虐待を未然に防ぐ対策が必要では。国・県に児童福祉司1人の配置基準の見直しや増員を求める考えは。

答弁 保育士が児童虐待の知識を身につけることや保育所の体制整備によって虐待を防ぐことになる。増員については県に要望する。

小豆島町景観まちづくり条例の制定を

質問 小豆島町内の虫の里・千枚田等の中山、棧敷・城山城跡の浜条を起点とする三都半島、醬油蔵の馬木・苗羽、田浦半島、寒霞溪を区域指定し自然的、歴史的景観を活用した町並みを形成、推進していく条例の制定を。

答弁 小豆島町独自の条例を、来年提案する。



『二十四の瞳』のロケ地であった「城山桜公園」

有害鳥獣対策の継続実施と増額を

質問 国による鳥獣被害防止の交付金が最終の今年度は交付内示額と要望額に大きな隔たりがあり前年度より減少。中山間地域は、水源のかん養や環境保全等安心して農林業が継続できる環境が極めて必要なため、国・県に継続実施と増額を求める考えは。

また、財務省の事業仕分けによる事業最終や減額になった場合、町で実施する考えは。

答弁 四国4県町村長大会や中四国農政局等を通じて強く要望している。仮に交付金事業が廃止になった場合は、町独自で事業を継続する必要がある。



内海病院に医療メデイエーターを



鍋谷真由美 議員

質問 患者と医療者間の双方の意見を聞いて話し合いの場を設定するなど問題解決に導く仲介役の「医療メデイエーター」を内海病院で養成しては。

答弁 必要性は認識しているが、すぐには難しい。今後の課題として取り組みたい。

国保の資格証明書の発行はやめよ

質問 社会保障としての本来の国保法の理念を踏まえた滞納者への対応に改善をし、資格証明書の発行をやめることを求める。

答弁 現行の国保制度

のもとで、基本的なルールに従った運営が必要。



医療費全額負担になる資格証明書

ゲートキーパー研修の実施で自殺予防対策を

質問 ゲートキーパーとは、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて、関係する専門相談機関へつなぐなどの役割を持つ人のことである。ゲートキーパー養成のための研修を行い、自殺対策を担う人材の育成を。



答弁 県の基金活用で、保健所が主催の研修会などが良いと思うが、町独自でも必要があれば、検討したい。

地上デジタル移行で、テレビ難民を出さない取り組みを

質問 移行までに、準備が間に合わず、テレビ難民が生じるおそれがある。実態調査、相談や対策に取り組むべきでは。

答弁 いろんな形で広報活動とか、相談もされていると思う。これで不準備であれば、さらにそういう相談をきめ細かくしていきたい。

学校給食費の未納状況と今後の対策は



大川 新也 議員

質問 今年度文科省から学校給食費の未納状況について調査依頼が出された。全国的に未納が増加している様であるが、本町においての現状と子ども手当から天引きできる仕組みを求める声もあるが。

答弁 幸いなことに、本町の給食費について、年度途中での一次的な未納はあるが、学級担任などのご尽力で、年度末の未納はありませぬ。しかし年度途中での一時的な未納は増加しており学級担任の負担も大きくなっている。色々な対策は必要と考える。

また子ども手当から天引きする仕組みは、そのような方向で国が

制度改革をすればと考えている。

国道436号線のバイパス構想は

質問 国道436号線、具体的には草壁港から清水バス停の間、町内道路の中枢とも言えるこの区間に迂回路がない現状で、もし災害発生時に道路寸断になった場合を考えると農免道路の接続などバイパス構想は将来的に必要と思えるが。

答弁 構想については大賛成であり、災害時の必要性は感じているが、現実的には、財政面からも厳しいものがある。国の事業仕分けで農免道路制度がなくなり、現行の制度では県

費の補助率が低く、町の負担が大変重くなる。しかし、この構想がいつか実現することを思い続けていきたい。



いざという時の迂回路確保を (草壁港前)



住民の声 Vol.18



蒲野地区と芸術家村

森口 茂
(蒲野自治会会長)



芸術家との交流を通じて地域を元気に

私が生まれ育った蒲野地区の人口は男50人、女78人の合計128人の小さな集落です。また、この地区には、小学校、幼稚園がありましたが11年前に池田小学校へ統合をし、107年の歴史にピリオドを打ちました。その後、この施設は、活性化セ

ンターへと生まれ変わり、また幼稚園跡は、三都老人憩いの家となりました。平成18年に2町の合併に伴いこの施設はふれあいセンター、三都公民館となり住民への窓口業務もできるようになりました。この公民館全体の施設の利用回数も年々増加して大変喜んでおります。



廃校の教室を飾った芸術作品

平成19年に小豆島芸術家村構想が持ち上がり、この地区へ要請があり色々と協議をして平成21年3月に芸術家の受け入れをしました。第1回目は、2名の芸術家が入村、4ヶ月間の創作活動と発表会を行い、作品を残して退村しました。この後、3名ずつ入村をしています。本年の7月には、東京芸術大学の大学院生や助教等14名が入村し、創作活動ならびにワークショップ等を行う地区住民と交流を深めました。8月10日から22日まで三都半島の色々な場所においてストリーオブザアイランド展を開催、当地区内でも5ヶ所で展示をしておりました。

まちの力 池田剣道



池田剣道スポーツ少年団は、現在6年生3名、5年生2名、4年生5名、3年生1名、2年生4名、年少1名が所属しています。6名の指導者の下、水・金・土曜の週3回、池田中学校修道館で7時から9時まで練習を行っています。

現時点での目標は小豆島での大会で低学年・高学年共に団体戦で優勝することです。

今までは、みんな賞状、メダルなどをとって卒業しています。成績を残し、池田剣道スポーツ少年団を盛り上げていきたいと思い、日々の練習に力を入れています。それだけではなく、子ども達にはチームワークの大切さ、礼儀やあいさつなどが自然に身につけられるような指導

も心がけています。

剣道は、小さい子どもから男女問わずできる武道であり、集中力、忍耐力、読心力、状況に応じた判断力も身につけ、心も身体も鍛えられることができます。

剣道に興味のある子ども達はぜひ一度池田中学校修道館まで見学に来てください。

子ども達と共に時代を担う立派な人間になるように頑張っていきたいと思しますので応援よろしくお願いします。



編集後記

今夏は記録的な猛暑のなか7月19日から現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が開催されました。

地方分権や社会構造変革の中、地場産業の振興、少子高齢化対策、地域福祉充実、学校統合問題等、様々な課題に取り組み「小豆島町の住みよい町づくり」のために、大いなる活躍を皆さまと共に期待するところです。

議会の情報、活動状況を読みやすく、わかりやすく、いかに読んでいただくかを考えながら、日々努めているところですが、そこで今号から文字を大きくしました。従来がこのサイズでしたので、かなり大きくなったと思います。また、皆さんのご意見、ご要望をお聞かせください。

本紙に対するお問い合わせは

発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108